

令和元年度 がん患者の妊孕性温存治療に係る研修会開催要領

- 1 目的 令和元年度より、香川県では「香川県がん患者等妊孕性温存治療費助成事業」が開始されることに伴い、がん患者の妊孕性温存治療において、がん治療医が担う役割やがん治療別の性腺（精・巣・卵巢）機能へ与える影響及び妊孕性温存方法等について、医療従事者及び相談対応者が正しく理解し、また、妊孕性温存治療費助成事業を理解することにより、温存治療を希望するがん患者の円滑な支援ができる体制整備を図る。
- 2 主催 香川県・香川県産婦人科医会
- 3 日時 令和元年8月18日（日） 15時00分～17時00分
- 4 場所 香川大学医学部 臨床講義棟2階「講義室」
木田郡三木町池戸1750-1 Tel 087-828-5111（代）
- 5 対象 がん・生殖医療に携わる医師、看護師等 約150名
- 6 内容

14:30～15:00	受付
15:00～15:10	【開会・挨拶】（挨拶：香川県産婦人科医会 藤田卓男会長）
15:10～16:10（60分間）	【講演Ⅰ】 がん診療に関わるすべての医療スタッフのための 「がん患者と生殖医療の実際」 講師：岡山大学大学院 保健学研究科 研究科長 中塚 幹也 先生 座長：香川大学医学部 母子科学講座 周産期学婦人科学 教授 金西 賢治 先生
16:10～16:45（35分間）	【講演Ⅱ】 「妊娠可能な乳癌患者に対する乳癌治療と 生殖機能温存の現状と問題点」 講師：岡山大学病院 乳腺・内分泌外科 乳がん治療・再建センター 枝園 忠彦 先生 座長：香川大学医学部 乳腺・内分泌外科 准教授 紺谷 圭一 先生
16:45～16:55（10分間）	【行政説明】 「香川県がん患者等妊孕性温存治療費助成制度について」 香川県子ども政策推進局子ども家庭課 副主幹 包末 雅昭
16:55～17:00	【閉会 挨拶】